地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（大津地域）

●シップキャリア保管施設整備（継続）

（1）地域マリンビジョンにおける取組内容（Plan）			関連資料
地域 MV における取組の位置付け	**【地域の将来像】** 漁業地域の減災対策 **【主な取組】** シップキャリア保管施設整備 短期：R7　保管施設整備及び保管施設前面の外構工事完成 中期：　― 長期：　―	取組場所 	【取組の様子】 ・赤枠：シップキャリア保管施設整備地　整備前空撮 ・上下架した船を移動させるシップキャリア ・完成したシップキャリア保管施設
取組内容に関連する実施の現状と課題	【現状】 ・平成 23 年の東日本大震災における津波被害を受け、船揚場の嵩上げを実施、令和 4 年に完成 ・漁船修理施設（鉄工所）の高台移転を予定していたが、移動式船台車（シップキャリア）の保管施設　の整備を先行して実施 【課題】 ・シップキャリア保管施設整備の完了		
取組による効果（数値目標）	災害発生時の漁業活動の早期再開を目指す		
（2）取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	・現状、船揚場嵩上げに伴い整備したシップキャリアが野ざらしで保管されており、塩害等による老朽化が課題となっている。このことから、漁船修理施設に先行してシップキャリア保管施設を漁協の共同利用施設として整備する計画を追加 ・漁船修理施設整備用地として嵩上げした用地の余剰部分に整備予定 ・令和６年度からの整備を目指し検討を進めている 【令和６年度以降の計画】 令和６年度：施設規模の協議、確定 実施設計 **令和７年度：保管施設整備** **保管施設前面の外構工事【完了】**		
（3）効果項目に対する評価（Check）			
数値目標の達成度評価	・令和７年度中に整備完了		
反省点			
（4）取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	・シップキャリア保管施設整備に伴い先送りとしていた漁船修理施設整備の検討		
取組の実施に必要なもの	・漁協等との協議 ・鉄工所等の誘致		

●衛生管理体制の確立（継続）

（1）地域マリンビジョンにおける取組内容（Plan）			関連資料
地域 MV における取組の位置付け	【地域の将来像】 衛生管理施設の整備 【主な取組】 衛生管理体制の確立 短期：トラック発着場側屋根施設整備 中期：施設整備完了に伴う衛生管理マニュアルの見直し、電動フォークリフトへの随時更新 長期：陸揚げからトラックへの積込までの高度な品質保持体制の確立、衛生管理に係る記録の維持管理及び要請に応じた情報共有体制の確立	取組場所 	【取組の様子】 ・完成した岸壁側屋根施設 ・道路側屋根施設施工状況
取組内容に関連する実施の現状と課題	【現状】 ・主要魚種であるサケ、ケガニ、シシャモ等の漁獲が尽く不振となっている ・特に、太宗漁業であるサケ定置網漁業が極端な不漁 ・滅菌海水装置による洗浄施設や電動フォークリフトは導入済み ・令和４年度より屋根施設整備が開始され、岸壁側の整備は完了 ・トラック発着場側の屋根施設整備が実施予定 【課題】 ・衛生管理体制の構築		
取組による効果（数値目標）	高度品質保持による漁獲物の単価上昇２０％ ※衛生管理レベル３を目指す		
（2）取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	・令和６年６月末に岸壁側屋根施設が完成 ・同年 12 月に電動フォークリフト納品 【屋根施設整備経過及び予定】 令和４年 12 月　岸壁側屋根施設着工 令和６年　６月　岸壁側屋根施設完成 令和７年 12 月　道路側屋根施設着工		
（3）効果項目に対する評価（Check）			
数値目標の達成度評価	・令和８年度内に道路側屋根施設整備が完了		
反省点			
（4）取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	・施設整備に際し開発局との協議を要する		
取組の実施に必要なもの			